

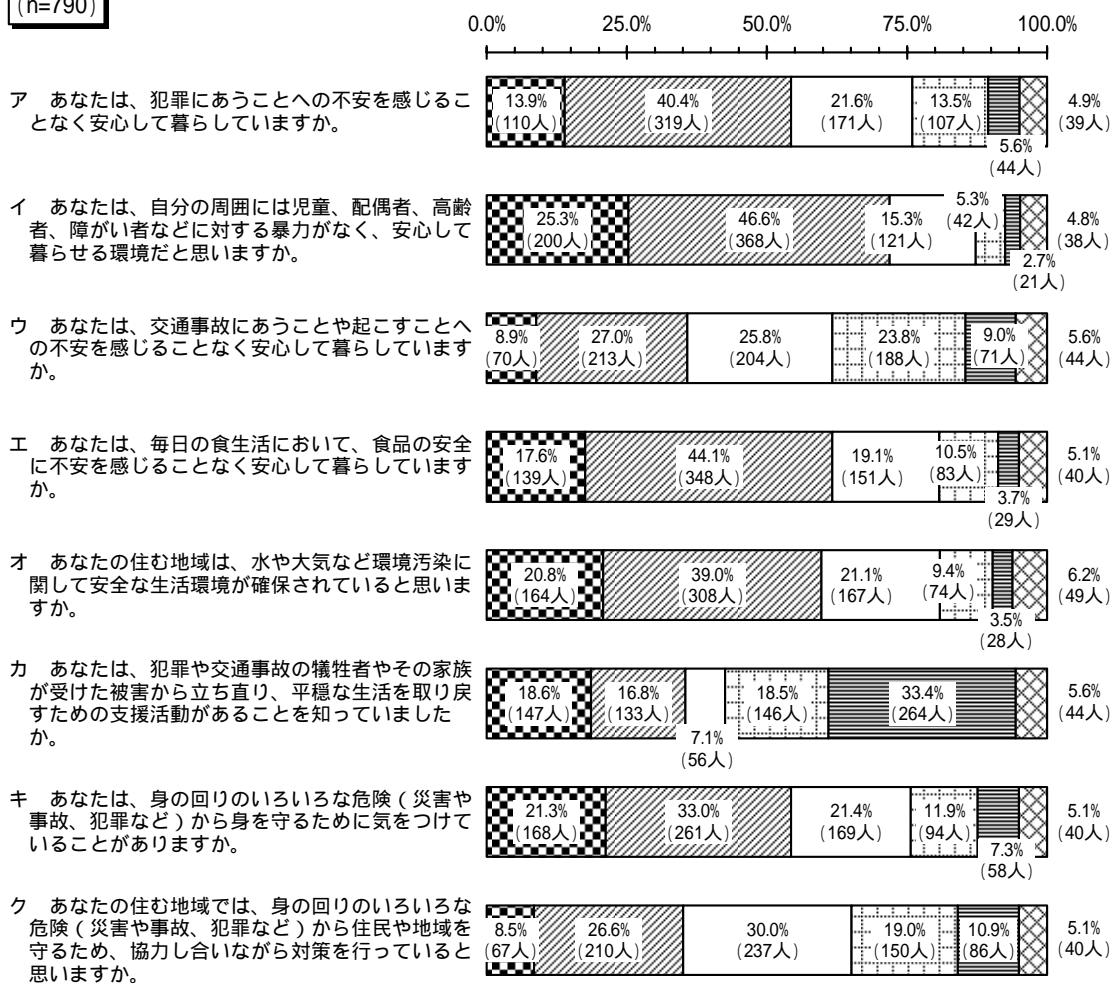
8 安全で安心な県づくりについて

(1) 「安心」の現状

問30 次にあげた(ア)～(ク)の項目について、あなたは現状をどのように感じていますか。それぞれ1～5の中であてはまるもの1つにをつけてください。

全体
(n=790)

- はい
 どちらとも言えない・該当しない
 いいえ
 どちらかと言えば「はい」
 どちらかと言えば「いいえ」
 無回答



あなたは、自分の周囲には児童、配偶者、高齢者、障がい者などに対する暴力がなく、安心して暮らせる環境だと思いますか（25.3%）に「はい」と回答した人が最も多く、2割強となっている。あなたは、身の回りのいろいろな危険（災害や事故、犯罪など）から身を守るために気をつけていることがありますか（21.3%）とあなたの住む地域は、水や大気など環境汚染に関して安全な生活環境が確保されていると思いますか（20.8%）も2割台となっている。

「はい」と「どちらかと言えば“はい”」を合わせた『はい』計の割合をみると、あなたは、自分の周囲には児童、配偶者、高齢者、障がい者などに対する暴力がなく、安心して暮らせる環境だと思いますか（71.9%）が最も多く、7割を超えた。

あなたは、毎日の食生活において、食品の安全に不安を感じることなく安心して暮らしていますか（61.6%）と あなたの住む地域は、水や大気など環境汚染に関して安全な生活環境が確保されていると思いますか（59.7%）が6割前後、あなたは、犯罪にあうことへの不安を感じることなく安心して暮らしていますか と あなたは、身の回りのいろいろな危険（災害や事故、犯罪など）から身を守るために気をつけていることがありますか（各54.3%）が5割台となっている。

一方、「いいえ」と「どちらかと言えば“いいえ”」を合わせた『いいえ』計の割合は、あなたは、犯罪や交通事故の犠牲者やその家族が受けた被害から立ち直り、平穏な生活を取り戻すための支援活動があることを知っていましたか（51.9%）が5割を超え、高くなっている。